

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス こどもデイサービスsoare

対象人数(保護者)22人 回答者数 18人 回収 81.8%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2				
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					より良い支援を提供できるよう、基準以上の職員を配置するよう配慮しています。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		1		限られた環境の中で、一人一人が過ごしやすい環境づくりを心掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	⑦ 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18					アセスメント、保護者様との面談、ケース会議など一人一人に合わせた個別支援計画作成のため、しっかりと子どもの姿を理解する努力を続けてまいります。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					児童発達支援ガイドラインの則り、必要な記載事項を設定しています。また、個別支援作成毎に詳しく説明して理解を得られるよう、配慮していきたいと思ます。
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				1	子どもたちの年齢や特性に合わせ、柔軟に活動の内容を変更しながらプログラムを設定しています。
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	1	2	2		定期的に事業所の近くの児童クラブとの交流を図っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18					毎年保護者会やを行い、療育支援事業として研修会も開催しています。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思えますか。	18					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					保護者様に寄り添い、気軽に相談できる環境づくりを目指し、努力を続けていきます。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	18					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	6				毎年保護者会やを行い、療育支援事業として研修会も開催しています。どなたでもご参加お待ちしております。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					引き続き、保護者様や利用者様に寄り添い、気軽に相談できる環境づくりを目指し、努力を続けていくとともに、周知・説明もまいります。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	18					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18					ホームページ、公表システムで各項目を発信しています。ぜひご覧ください。
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	18					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉔	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			1		
	㉕	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18					
	㉖	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					
	㉗	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18					事故発生時は保護者様に速やかに報告するとともに、適切な治療を施すことができるよう義務を果たしてまいります。
満足度	㉘	こどもは安心感をもって通所していますか。	18				子供はスタッフさん達をととても信頼しており、のびのびと過ごしています。	
	㉙	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			子供はソアレさんに行くのを毎回楽しみにしています。	楽しく通ってもらえるよう子どもたち一人一人に寄り添うよう配慮していきます。お困りのことなどございましたら、いつでもご連絡ください。
	㉚	事業所の支援に満足していますか。	18				子供の苦手を支援していただき、毎回様子を教えてくださいるので、とても満足しています。	これからも支援向上のため、スタッフ一同邁進してまいります。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスsare		公表日	令和8年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		毎日の活動の振り返りとともに、業務改善のための協議もこまめに行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の活動の振り返りとともに、業務改善のための協議もこまめに行っており、積極的に意見を採用している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内の研修のみならず、外部の研修も積極的に参加するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援室管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		実際に支援にあたるスタッフ全員で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		モニタリングから作成などスタッフと一様に共有しながら個別支援計画の作成を進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		こどもの特性や年齢、一人一人に合わせた柔軟な対応ができるよう、プログラムの立案からチームで取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスsoare		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 26日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業員評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 2月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業所向け自己評価表作成日	令和8年 3月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別と小集団の支援を柔軟に組み合わせている。	こどもの特性や活動に合わせて、個別と小集団の活動を柔軟に組み合わせた支援を行っている。	活動の振り返りを行いながら、個別や集団のプログラム内容が固定化されないよう努めている。
2	チームでの共有・立案・実行・振り返り。	個別支援計画の立案からモニタリング、日々の活動の振り返りまで、様々な場面で職員間で共有しながら行っている。	引き続きこどもの様子をこまめに共有しながらチームで行うことを意識していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい同士の交流ができていない。	保護者会や家族が参加できる研修等は開催しているが、きょうだい同士の交流の機会を設けることができていない。	きょうだい同士の交流ができるようなイベントなど検討していく。
2			
3			